

31 造園 Landscape Gardening



より自然に近い景観へ!癒しを追及するクリエイター

樹木や石に関する深い知識、空間構成力やデザインセンスから、それらを表現するための施工技術まで、さまざまな要素を取り入れた「造園」。2日間かけて23歳以下の青年技能者が技を競い合います。造園は、庭づくりはもとより、公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。造園作業は、設計、庭の下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど、見る人が心とむ、より自然に近い景観になるように工夫を凝らさなければなりません。



生きている樹木を扱う 感性と応用力、技能の熟練度がポイント!

技の正確さ、スピードとともに、応用力も求められ、選手の総合的な技能の熟練度がポイントとなります。樹木という生き物を扱い、花が咲き、実がなり、四季折々によって景観が変わる自然を、自分の技と感性で創り上げます。石積み用の自然石は、ひとつとして同じ形状のものがなく、どう配置し、積んでいくか、材料を見極め、手早く、図面どおりに仕上げる高度な技能が必要となります。また、庭を彩る草花の配色もみどころのひとつです。

細部まで
こだわった
庭作りを!



競技について

競技時間 2日/10時間30分

今年の課題は2人1組で、施工図面にしたがって5m×3.5mの区画内に、庭園を見栄え良く作庭します。石積み、小舗石や敷石の敷設、ベンチ・スクリーンの製作、樹木や季節の草花の植栽、芝生張り等を行います。作業時間の10時間30分を過ぎると打切りになります。国際大会に準じて競技前日の課題一部変更や、モジュール採点もあります。



参考:第58回技能五輪全国大会 平面図

競技職種と生活との関わり

庭づくりに携わる造園技能士。住宅の庭だけでなく、公園や街路樹、学校、工場の緑化まで活躍の場は幅広くあります。造園技能士の資格を持つ庭師のほとんどは造園会社に勤務し、街のみどり豊かな環境や身近な暮らしの造園緑化に従事しています。樹木や草花といった植物材料や石などの自然素材を扱うのも庭師の特徴です。造園は自然を相手にすることが大きな魅力で、小さな大自然を演出する仕事です。

2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

金	(株)近江庭園	前川 航平さん(滋賀県)
銀	奈良県立磯城野高等学校	荒木 歩さん(奈良県)
	(株)高山造庭園	真鍋 幹汰さん(山口県)
銅	群馬県立勢多農林高等学校	田子 雅也さん(群馬県)
	(有)若松緑地建設	松田 武俊さん(福岡県)
	西日本短期大学	橋本 龍之助さん(福岡県)
敢闘	京都府立農芸高等学校	大西 陽生郎さん(京都府)
	三重県立四日市農芸高等学校	龍田 康希さん(三重県)
	(株)高橋造園土木	岩崎 美暉さん(大阪府)
	岩間造園(株)	青木 鴻太さん(愛知県)
	(株)大平造園土木	塚原 恵さん(茨城県)
	(有)緑新開発	玉那覇 兼吾さん(沖縄県)
	兵庫県立農業高等学校	福岡 潤摩さん(兵庫県)

金賞
前川 航平さん
(株)近江庭園

高校での
造園技能士取得を
きっかけに、庭造りの
面白さを知りました!

2019年大会
競技課題

